

グループで語るということ

子育てする母の孤独は深く、内面世界を扱える支援を求めたのは母親自身である。

子どもの虐待予防を目的とする母親の心のケアグループ=MCG が始まって 29 年。人前で弱音や痛みを口にするをよしとしない社会において、MCG は受け入れられにくいかもしれない。だが一方で、グループを体験した者は、精神科医も含め、人間のもつ素晴らしさをグループの「語り」の中に発見した時の喜びを話す。1 対 1 では聴けない、自分を取り戻すための言葉が散りばめられており、回復へのプロセスがそこにあるという。そんな MCG という支援の方法を、今回は原点に立ち返って「語る」ということをキーワードに振り返ってみたい。(広岡智子)

[日 時] 2022 年 1 月 30 日 (日) 10:30~16:00

[会 場] 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 401 号室

○ アクセス：小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩 7 分 ほか

○ 住所：東京都渋谷区代々木神園町 3-1 (<http://nyc.niye.go.jp/index.html>)

[対 象] 保健所、保健センター、子ども家庭支援センター、児童相談所、民間団体等においてグループ事業に携わっている方、グループの立ち上げを予定している方をはじめ、グループケアに関心のある援助職の方

[定 員] 30 名 ※120 名定員の会場を使用します。

[受講料] 7,000 円 (賛助会員の方は 6,000 円)

時間	内 容 ・ 講 師 (敬称略)
受付開始 10:15~	
10:30~12:00	【講 義】グループで語るということ ／上村 順子 (精神科医、くじらホスピタル院長)
12:00~13:00	昼 食
13:00~16:00	【グループ体験】 【グループの実践から思うこと】 ／広岡智子 (CCAP 理事、グループファシリテーター) 他

*新型コロナウイルス感染拡大状況や荒天予報等により、予定が変更になる場合があります。予定を変更する場合は、講座開催の 2 日前にはホームページに掲載しますので、必ずご確認ください。

*会場では、マスクの着用や検温など感染防止対策にご協力ください。

*やむを得ない事由により、内容の一部を変更する場合があります。

*申込方法は裏面をご覧ください。

【申し込み】

(1) ホームページ (<https://www.ccap.or.jp>) → 「研修・セミナー」 → 「専門職・行政向け」 → 「第 19 回 MCG 講座 Part2」 ページの「お問い合わせフォーム」からお申し込みください。

(2) 受付メールを返信します。

(3) 当日受付にて、現金で受講料をお支払いください。
(公費で現金でのお支払いができない方は、お申し込み時にお知らせください。)

- * 受講料はおつりのないようにご準備ください。
 - * メールアドレスは、土・日曜日も含め、緊急時に連絡がつくアドレスをお知らせください。
 - * 迷惑メール防止対策等をされている方は、@ccap.or.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。
 - * 1 週間経っても、こちらからの返信がない場合は、事務局までお電話ください。
-

※このたびのセミナーと同時に CCAP 賛助会員にお申し込み頂きますと、会員料金でご参加いただけます。

【問い合わせ先】

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター事務局

TEL 03-6909-0981 / FAX 03-6909-0982

ホームページ <https://www.ccap.or.jp>